

## 研究報告 2021-CH-127

※Windows の方は[Ctrl]キーを, Mac の方は[option]キーを押しながらリンク先をクリックしてください.

8 月 28 日(土)

### ■セッション 1 [13:00-14:10]

- (1) [デーヴァナーガリー文字 OCR の開発](#)  
加藤 隆宏, 友成 有紀, 谷口 力光, 大澤 留次郎, 藤巻 聡, 岡田 崇, 橋本 江美
- (2) [「内閣大庫」史料文献のデジタル化・管理システムと利活用の可能性](#)  
林 玫君
- (3) [小篆の部品図形の不統一性から見る字書資料の参照関係](#)  
鈴木 俊哉

### ■セッション 2 [14:20-15:35]

- (4) [ロシア音符方式舞踊表記法からのバレエの復元とデジタル化](#)  
村上 綾菜, 佐藤 真知子, 和家 尚希, 笹渕 一宏, 中村 美奈子, 伊藤 貴之, 池内 克史
- (5) [Universal Dependencies によるアイヌ語テキストコーパス](#)  
安岡 孝一
- (6) [応用言語学と自然言語処理のリーダビリティ判定に対するアプローチの違い](#)  
江原 遥

### ■企画セッション「コロナ禍を通して得た大学教育／人材育成に関する知見」[15:50-17:50]

- (7) [リベラルアーツ教育環境におけるコロナ禍での情報教育の一実践](#)  
未代 誠仁
- (8) [大学横断型デジタル・リテラシー教育の構築に向けた JADH SIGLITH の取り組み](#)  
小風 尚樹
- (9) [コロナ禍の研究室運営を振り返って](#)  
松村 敦
- (10) [コロナ禍の教育と育成: 一地方私立大学でのコロナ禍下の 1 年半から](#)  
岡田 一祐
- (11) [方法論的共有地を支えるオンラインコミュニケーション: 人文情報学勉強会の取り組み](#)  
大向 一輝